

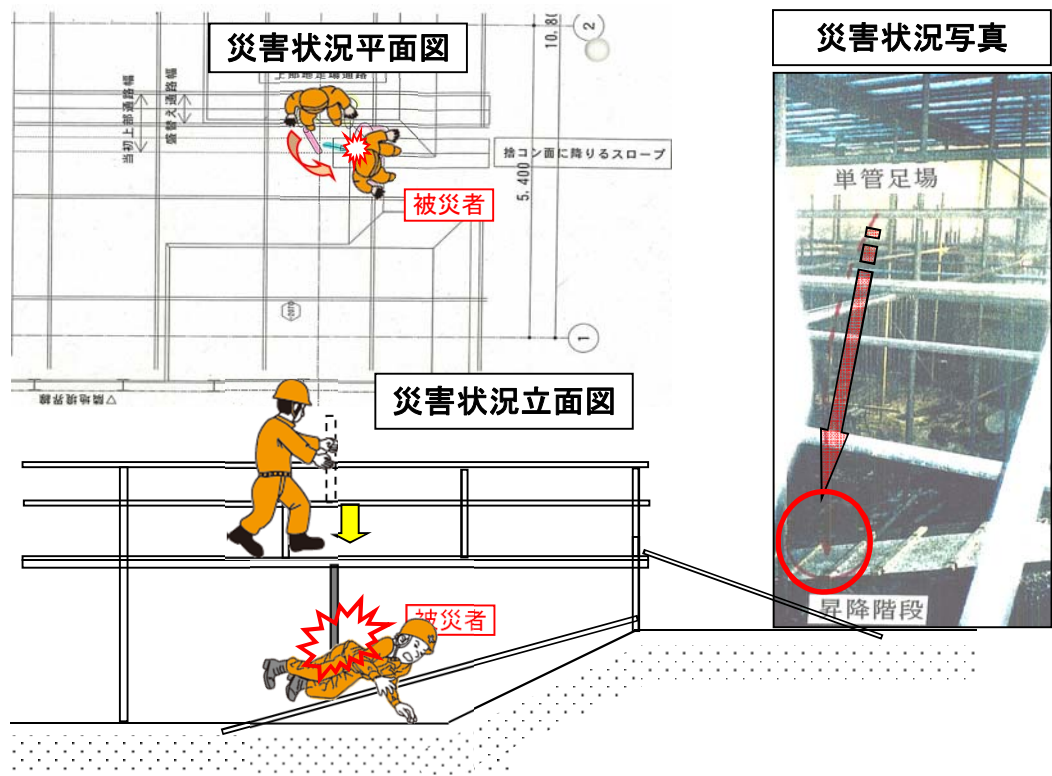
## 飛来・落下型

## 『上下作業で単管を落とし、腰に当り負傷』

発 生 年 月	平成 年12月
時 刻	8:35 頃
被 災 者	普通作業員(43歳) 経験年数 3年
傷 病 名・部 位	第2腰椎横突起骨折、左背部左臀部打撲 (休業日数 30日)

- ◎ 発生状況
1. 災害発生日のKYミーティングにおいて、職長と被災者は当日の危険予知重点目標を「上下作業による飛来落下災害防止」に取り決めた。
  2. しかし、実際作業を開始して、一人は足場の上部通路の盛替を行い、もう一人は下方で作業に従事していた。
  3. 足場の手すりの建地単管を外したところ、手がすべり単管を落とし、下にいた作業員の腰に当り、受傷した。

## ◎ 被災状況



## ◎ コメント

- ・上下作業の禁止の周知と実施の徹底を図る。
- ・立ち入り禁止区域の周知と徹底を行うこと。
- ・輻輳作業時の連絡調整と声かけ運動により、お互いの作業確認を行うこと。